

上原記念生命科学財団
平成29年度 ポストドクトラルフェローシップ 募集要項

<p>1. 助成対象課題</p>	<p>生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する以下の諸分野の研究 (1) 東洋医学、体力医学、社会医学、栄養学、薬学一般 (2) 基礎医学（上記以外） (3) 臨床医学（ 〃 ）</p>
<p>2. 助成対象者</p>	<p>下記の諸条件をいずれも満たす日本に国籍を有する者、又は日本への永住が許可されている者。但し、過去に当財団の海外留学助成金を受領した者は対象外とする。</p> <p>(1) 昭和59年4月1日以降出生の者、但し医学部等6年制学部卒業者は昭和57年4月1日以降出生の者</p> <p>(2) 博士号を有するか、または平成30年4月までに取得見込の者</p> <p>(3) 当財団の助成期間中の年収が250万円以下の者</p> <p>(4) 平成30年1月1日から12月31日の間に出立し、1年以上留学する者 (但し、年内に出立する者および募集開始時点で海外留学通算2年未満の者については「前年度の応募に間に合わなかった」等の事情によっては申請を受付ける。その場合は、必ず応募事由書を添付のこと。)</p> <p>※次の場合は対象外</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>①平成30年12月31日までに帰国予定の者</p> <p>②学生として海外の大学又は大学院へ留学する者</p> <p>③通算2年以上研究留学の経験がある者</p> </div> <p>(5) 1年以上の海外留学を受け入れる大学等学術研究機関が決定している者 但し、日本学術振興会や国内外を問わず、他機関・他財団の大型助成との重複受領は認めない。（当財団ホームページQ&A参照）</p>
<p>3. 推薦者</p>	<p>推薦件数は研究機関内選考等により1推薦者に原則として1件とする。</p> <p>(1) 大学関係 総合大学：大学院研究科長(または学部長)^(注1) 単科大学：学長 財団理事会が承認した大学附置研究所等：代表責任者 大学共通組織^(注2) (研究センター、研究施設等)：学長</p> <p>(注1) 同一の研究科、学部の場合はいずれか1件の推薦とする。 (注2) 原則研究センター長、施設長および病院長は推薦者となることができない。</p> <p>(2) 大学以外の研究機関：当財団理事会が予め承認した研究機関の代表責任者</p> <p>(3) 申請時すでに留学中の者：留学先研究室の長 (PI相当) 注) 1研究室につき1件とする。</p>

<p>4. 助成金額 および件数</p>	<p>渡航費および滞在費1年分として、1件450万円以内とする。※下記表を参照。 総助成件数約50件の予定。</p> <p style="text-align: center;">＜一件あたりの助成金額の上限＞</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>既婚者</th> <th>独身者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成決定後に出立する者</td> <td>450万円</td> <td>390万円</td> </tr> <tr> <td>既に留学中・年内出立の者</td> <td>410万円</td> <td>350万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>尚、次の条件を満たす希望者の中から選考段階での成績優秀者（若干名）に対し、2年間の助成を行う。（但し、2年目の助成額は初年度助成額から渡航費40万円を差し引いた金額を上限とする。）</p> <p>[条件]平成30年1月以降新たに出立し、2年以上の受入が確定している者。</p>		既婚者	独身者	助成決定後に出立する者	450万円	390万円	既に留学中・年内出立の者	410万円	350万円
	既婚者	独身者								
助成決定後に出立する者	450万円	390万円								
既に留学中・年内出立の者	410万円	350万円								
<p>5. 助成期間</p>	<p>出立月(平成30年1月～12月)より1年間。但し、既に留学中の者および年内出立の者の助成期間は、平成30年1月から1年間とし、且つ滞在費のみとする。</p>									
<p>6. 応募方法</p>	<p>当財団ホームページ (http://www.ueharazaidan.or.jp) の助成金 Web 申請のページより応募する。</p>									
<p>7. 応募締切日</p>	<p>＜国内推薦の場合＞ Web 申請締切：平成29年9月5日（火）午前10時 郵送書類締切：平成29年9月5日（火）（消印有効）</p> <p>＜海外推薦の場合＞ Web 申請締切：平成29年8月31日（木）午前10時（日本時間） 郵送書類締切：平成29年9月5日（火）（必着）</p> <p>※応募に際しては、助成金 Web 申請画面でのデータ送信および申請書原本の郵送の両方が必須となります。</p>									
<p>8. 選考方法</p>	<p>当財団選考委員会において選考し、理事会で決定する。</p>									
<p>9. 採否の通知</p>	<p>平成29年12月14日（予定）に採択者をホームページに掲載の上、採択通知を郵送する。尚、2年間助成の採否についても同時に通知する。内定者には11月に収入状況の確認を行う。</p>									
<p>10. 留学助成金の交付</p>	<p>平成30年1月以降、1年分を一括振込みする。 但し、その贈呈式は平成30年3月9日に行う。</p>									
<p>11. 報告の義務</p>	<p>平成31年4月30日（但し、4月末で留学1年未満の方は留学1年経過時）までに、収支決算報告書および研修経過報告書を当財団に提出する。</p>									
<p>12. その他</p>	<p>(1) 申請書に記載の個人情報、助成（奨学）・表彰に関し、募集要項等の送付、選考手続き・選考委員への提供並びに選考結果の連絡及び公表等に利用することがある。但し、利用は目的の達成に必要な範囲で行う。</p> <p>(2) 申請書は採否に関らず一切返却しない。</p> <p>(3) 当財団は助成金受領者の研修経過報告を、研究報告集として印刷物および電子データ、当財団ホームページ、その他の方法をもって公表することができる。また、公益に資すると思われる公共のデータベースサービスに登録することもできる。</p>									
<p>13. 申請書送付先 および照会先</p>	<p>公益財団法人上原記念生命科学財団 〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号 E-mail: mail85@ueharazaidan.or.jp</p>									

海外留学助成金 添付書類について

1. 留学先の受入承諾書（必須） ※内容に不備があった場合は受付できませんので ご注意ください。

1) 受入先のレターヘッドの入った用紙を使用し、下記①～③を明記して下さい。

①留学の始期及び終期（申請書1ページ目の「留学期間」と整合性があること。）

②助成期間中の給与支給の有無及び年間給与額

※年内出立及び既に留学中の方の助成期間は、平成30（2018）年1月～12月とする。

③受入先でのポジション

2) 上記の①～③の記載部分にアンダーラインを引いて下さい。

3) 受入責任者のサインを頂いて下さい。

（注1）提出いただく受入承諾書はコピーで構いません。

（注2）Eメールのやりとりは承諾書にはなりません。

（注3）英語表記以外の承諾書には日本語訳をつけて下さい。

2. 応募事由書

年内出立及び既に留学中の方は、応募事由^{（注1）}について別紙（様式適宜）で
ご説明下さい。

（注1）「前年度の応募に間に合わなかった」等、応募が留学直前ないしは
留学後になった理由を書いて下さい。

受入承諾書見本

受入承諾書の記載内容に不備がある場合は、受付できませんのでご注意ください。

受入先のレターヘッド入り用紙を使用

June 20th 2017

Dear Dr. Taro Uehara

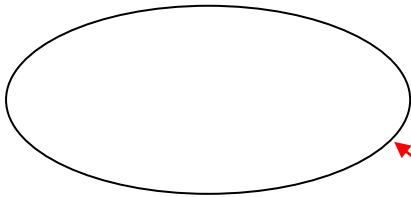
It is a pleasure to offer you an appointment as a **Research Fellow** in my laboratory in the Division of ××, Department of ××, University of ××. The planned term for your appointment is **April 1st, 2018 to March 31th, 2020**. Your salary will be **\$10,000** per year.

Sincerely,

留学の始期および終期

受入先でのポジション

年間給与額を記載（無給の場合はその旨記載）



Hanako Toshima

受入責任者のサイン

< 専門領域一覧表 >

所属機関部門で**基礎部門**を選択した方は、申請するテーマの専門領域を[基礎部門(K-A または K-B)]より選択して下さい。

臨床部門を選択した方は、申請者の所属の専門領域を[臨床部門(R-A または R-C)]より選択して下さい。

【基礎部門】に所属する方

K-A11 東洋医学	K-A16 薬品物理化学* ³
K-A12 体力医学	K-A17 薬品合成化学
K-A13 社会医学* ¹	K-A18 天然物・微生物化学
K-A14 栄養学	K-A19 薬品分析学
K-A15 薬剤学* ²	K-A20 ケミカルバイオロジー
K-B21 生物学* ⁴	K-B41 病理学
K-B22 解剖学* ⁵	K-B42 医動物学
K-B23 生理学	K-B51 微生物学・ウイルス学
K-B24 生化学	K-B52 免疫学
K-B25 分子生物学	K-B53 癌腫瘍生化学
K-B26 人類遺伝学	K-B54 放射線基礎医学
K-B27 細胞生物学	K-B61 基礎歯科学
K-B28 発生生物学	K-B62 基礎生体工学
K-B31 毒性学	K-B63 生物物理学
K-B32 薬理学	

【臨床部門（主に医・歯学部/研究科の臨床部門または当財団理事会が承認した研究施設のある病院）】に所属する方

R-A11 東洋医学	R-A16 薬品物理化学* ³
R-A12 体力医学	R-A17 薬品合成化学
R-A13 社会医学* ¹	R-A18 天然物・微生物化学
R-A14 栄養学	R-A19 薬品分析学
R-A15 薬剤学* ²	R-A20 ケミカルバイオロジー
R-C11 内科学一般	R-C31 外科学一般
R-C12 循環器内科学	R-C32 胸部外科学
R-C13 消化器内科学	R-C34 消化器外科学
R-C14 呼吸器内科学	R-C35 脳神経外科学
R-C15 神経内科学	R-C36 整形外科学
R-C16 腎臓内科学	R-C37 形成外科学
R-C17 血液内科学	R-C38 口腔外科学
R-C18 代謝内分泌内科学	R-C39 小児外科学
R-C21 膠原病・アレルギー学	R-C41 産婦人科学
R-C22 感染症内科学	R-C42 眼科学
R-C23 臨床腫瘍学	R-C43 耳鼻咽喉科学
R-C24 老年医学	R-C45 泌尿器科学
R-C25 小児科学	R-C51 輸血学
R-C26 心療内科学	R-C52 麻酔科学
R-C27 精神神経科学	R-C54 医用生体工学
R-C28 皮膚科学	R-C55 臓器移植学
R-C29 放射線科学	R-C61 臨床歯科学
R-C30 臨床検査学	R-C62 リハビリテーション医学

*¹ (公衆) 衛生学、法医学、産業医学、環境医学、疫学、地域医学、看護学等を含む

*² 病院薬剤学を含む

*³ 構造解析、分子設計等を含む

*⁴ 生態学等を含む

*⁵ 組織学を含む